

大人になるための努力を⑤ 「法令上」のいじめと「社会通念上」のいじめとは

校長 有本 千晴

例年よりも、約1週間早く2学期が始まりました。本校の職員は、8月19日(水)に、「いじめ防止推進」について、弁護士の方から教わる研修会を実施しました。そこで学んだこと含めて、いじめを防止することの必要性を始業式で児童に話しました。

最初に①と②を児童に見せて、「これはいじめだと思うか、思わないか」を尋ねました。①は、ほぼ全員がいじめだと思うと答えました。しかし、②はいじめだとは思わないという児童が、半分程度いました。

平成25年に制定された「いじめ防止対策推進法」では、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係になる他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」といじめを定義しています。この2つの事例では、AさんはBさんからされた言動に苦痛を感じています。それを「いじめられた」と大人に相談したときは、それがどのような行為であっても、「いじめ」と認知しなければならないとされました。②の事例は、社会通念上はいじめとして認知されないことが多いと思われれます。なぜなら、Aさんは好意的にBさんのために言ったこととも受け取れるからです。一方で、Bさんが「皆の前で恥ずかしいことになった」「いじめられた」と心身の苦痛を感じたのであれば、「推進法」の定義では「いじめ」となります。しかし、Aさんに好意的な気持ちがあれば、それを認めた上で、相手への言い方や言葉を選んで話すことなどを丁寧に諭し、「いじめ」という言葉を使わずに指導することもあります。

児童には理解することが少し難しいかもしれませんが、強い者が弱い者に対して「力の差」「継続的」「意図的」にする社会通念上(気持ちの上で)のいじめと「推進法」のいじめを区別する必要があります。

大人もこのことを十分に理解して、いじめの「早期発見」に努め、子どもの気持ちに寄り添い、安心して気持ちよく過ごせる時間と場所をもたせることも必要です。

新型コロナウイルスの感染に関して、感染者への心ない言葉や態度が深刻になり問題視されています。7月31日(金)の「泊を伴う学校行事説明会」で、「感染による中止となっても、保護者も児童も感染者の濃厚接触者には責任がないことを念頭に置いた言動をとる」ことを繰り返しお願いしました。感染者や濃厚接触者への誹謗中傷を決してしない・させないために、御家庭での御指導をお願いします。

※ 事例①②は、紙面に掲載しました。

第1学期学校評価について

7月に実施した第1学期学校評価について、御多用にもかかわらず御協力いただき、誠にありがとうございました。結果を皆様に御報告いたします。太字の箇所は、昨年度よりも数値等が向上した項目です。

今回は、御家庭でのお子様の生活で、大きく数値等が向上しました。これも、保護者や御家族の皆様の御指導と御支援によるものと、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2学期も、保護者や地域の皆様と連携しながら、一人一人の子どもたちの心に寄り添った取組を進めます。お気付きのことがございましたら、学校にお知らせください。

1 児童の評価

1 : とても思う 2 : 思う 3 : あまり思わない 4

: 思わない

No.	設 問	1	2	3	4
1	学校は楽しい。	66.7	31.3	1.0	1.0
2	学級会や係の仕事などを協力して取り組むことができた。	88.2	8.8	3.0	0
3	話す人を見て、終わりまでしっかり聞くことができた。	68.6	25.5	4.9	1.0
4	思った（考えた）ことをはっきり話したり発表したりできた。	53.9	36.3	8.8	1.0
5	勉強（授業）分かる。	75.5	24.5	0	0
6	勉強（授業）が分かるまで頑張ることができた。	81.3	16.7	2.0	0
7	自分の目標を決めて、最後まで粘り強く取り組もうとした。	75.5	17.6	6.9	0
8	運動や体を動かす遊びが好きである。	77.5	17.6	4.9	0
9	学年に合った時間までに寝ている。（低：9時 中：9時30分 高：10時）	48.0	31.4	16.7	3.9
10	友だちを「さん」付けで呼んでいる。	59.8	33.3	6.9	0
11	他の人が困っていたら助ける（他の人のために行動する）。	71.6	22.5	3.9	2.0
12	誰とでも仲良く勉強や活動をすることができた。	84.3	11.8	3.9	0
13	相手の立場や気持ちを考えて接した。	74.5	21.6	2.9	1.0
14	先生や運営委員に進んで挨拶することができた。	64.7	34.3	1.0	0
15	学校に来たお客様に進んで挨拶することができた。	75.5	21.6	2.0	0.9
16	名前を呼ばれたら、大きな声で返事をすることができた。	67.7	29.4	2.9	0
17	3分前行動を守ることができた。	57.9	34.3	7.8	0
18	清掃の時間は、口を閉じて掃除をした。	75.5	16.7	5.9	1.9
19	学校のきまりや学級の約束を守り、注意されたら行動を直した。	75.5	23.5	1.0	0
20	学校のお客様や先生に、正しい言葉遣いで礼儀正しく行動した。	82.4	17.6	0	0
21	田植えや野菜作り、植物栽培などの農業体験は楽しい。	82.4	14.7	1.9	1.0
22	先生は、よく話を聞いてくれる。	95.1	4.9	0	0

2 保護者の評価

評価基準 A : 80%以上 B : 70%以上～80%未満 C : 70%未満

		設 問	元年度 1学期	2年度 1学期	評 価
学 力	1	お子様は、友達と一緒に学習することが楽しいと感じている。	93%	93%	A
	2	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている。	77%	77%	B

	3	お子様は、学校での授業が「わかる」と感じている。	83%	83%	A
豊かな心	4	お子様は、楽しく学校生活を送っている。	96%	96%	A
	5	お子様には、思いやりの気持ちが育っている。	93%	93%	A
	6	お子様は、「おはようございます」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさま」「行って来ます」「ただいま」などのあいさつを大きな声でしている。	81%	81%	A
健康体力	7	お子様は、食べ物の好き嫌いをなくそうとしている。	58%	58%	C
	8	お子様は、早寝・早起きの習慣が身に付いている。	60%	<u>74%</u>	<u>B</u>
	9	お子様は、運動したり体を使って遊んだりすることが好きである。	89%	88%	A
学校全体	10	教育活動や学習の取組などの学校の様子が、たよりなどを通して伝わっている。	89%	88%	A
	11	家庭からの連絡、相談等に対して、職員は丁寧に対応している。	88%	<u>93%</u>	A
	12	総合的に見て、お子様が通っている粟生津小学校の教育に満足している。	87%	<u>93%</u>	A
燕市8つのチャレンジより	13	お子様は、進んであいさつをしている。	70%	<u>75%</u>	B
	14	お子様は、名前を呼ばれたら、はっきり返事をしている。	82%	<u>83%</u>	A
	15	お子様は、自分や友達の家に入るとき、玄関でくつをきちんとそろえている。	57%	<u>58%</u>	C
	16	お子様は、規則正しい時間に食事をきちんととっている。	95%	94%	A
	17	お子様は、家族の一員として、進んで家の仕事を手伝っている。	60%	<u>67%</u>	C
	18	お子様は、注意をされたら素直に聞き入れている。	62%	<u>66%</u>	C
	19	お子様は、あきらめずにねばり強くとりくむことができる。	65%	<u>68%</u>	C
	20	お子様は、お年寄りや目上の人に対して、正しい言葉遣いで礼儀正しく接している。	67%	<u>71%</u>	<u>C</u>
家庭で	23	お子様が家庭学習をしたかどうか、確かめている。	60%	<u>78%</u>	<u>B</u>
	24	お子様に、場面に応じた言葉づかいができるように教えている。	68%	<u>85%</u>	<u>A</u>
	25	交通事故や水の事故、不審者等から身を守ることについて話している。	80%	<u>83%</u>	A
	26	お子様とインターネットや携帯電話の使い方について、話し合っている。	69%	<u>76%</u>	<u>B</u>

3 改善の手立て

- (1) 学力向上について：読解力の向上のために、次のことを実施します。
- ① 速やかなフィードバック

テストで誤答を選択することによる誤りの定着を回避するため、正誤や正答を学習者にできるだけ速やかに戻します。
 - ② 解答の技術

ア あきらめず、粘り強く考えるよう繰り返し指導し、無答をゼロにすることを目指します。

イ あきらめず、しっかり問題文を読み切ることを指導します。

ウ 解答に必要な指定された条件も、しっかり読み、理解することを指導します。「問題にある言葉を使って」「次の文に続けて」などの条件を出されていることがあります。授業でも、意図的に繰り返し条件作文や字数制限の問題を多く扱い、解答の仕方に慣れさせます。
 - ③ すぐに答えを書いて安心しようという気持ちを我慢する練習を授業で繰り返します。

ア 見直しを最低1回、余裕があれば2回するよう指導します。

イ 小テストも含めて、アを実行するよう指導し、自分の解答を疑いの目で見える習慣を身に付けさせます。

- (2) 豊かな心の育成について
- ① 毎週1時間の道徳の授業を必ず実施します。道徳の時間を要として、全ての教育活動を通して、道徳的心情、判断力、実践力などの道徳性を培います。
 - ② 本校オリジナルの道徳ノートに自分の意見や気持ちを記入します。学習の履歴から、自分の成長や変化を確認できるようにします。
 - ③ よりよく生きようとする意志をもつため、自己の生き方についての考えを深める時間を授業で増やします。
- (3) 健康体力について
- ① 2学期の体育の授業で校内体力テストの項目を再計測し、体力の向上を確認するとともに、練習で持久力・柔軟性・瞬発力等を高めるよう、業間体育や異学年活動を実施します。
 - ② 起床・就寝時刻やメディアの適切な利用について、9月17日(木)の学校保健委員会で、学校医の高田 彰様から御講演いただきます。御多用のこととは存じますが、御出席いただき、御家庭でのお子様の御指導にお役立ていただきますようお願いいたします。

栗生津小学校の学力について

1 標準学力検査 (NRT)

5月28日(木)～5月29日(金)に、2～6年生に実施した標準学力検査の結果は、次のとおりでした。矢印は、昨年度の結果からの変化を示しています。

※ 結果は紙面に掲載しました。

2 学力向上対策

- (1) 切れ目のない学びについて
- ① 授業内のテスト(教科書の練習問題、確認テスト、小テスト)は、実施すること自体の効果が比較的大きいという知見が得られています。全校漢字テスト、全校計算テスト、授業での小テストなどを計画的に行います。
 - ② 学力調査、検査、テスト等の結果を分析し、しっかり学習者に戻します。授業内テストで誤答を選択することの定着を回避するために、正誤や正答を学習者に戻します。正答をきちんとフィードバックすることにより、うろ覚えと判断される誤答が減少するよう指導します。
 - ③ 御家庭でも、「学年×10分間以上」の家庭学習を継続するよう御指導をお願いします。

(2) 学年、教科別の対策について

学年	国語	算数
2年生	<p>① 毎日のスピーチに、テーマを決めて取り組みます。</p> <p>② スピーチの質問を3人から5人に増やします。しっかり話を聞くことを習慣付け、本題に関わるふさわしい質問をさせる。質問に対する答えは一言で済ませず、理由や感想を付け加えるようにします。</p>	<p>① 水のかさは、2年生でも学習します。比較する体験を復習させ、新たに測定する体験を積みます。体験により、量感を理解できるようにします。</p> <p>② 積み木遊びを通して、積むことができる、転がりやすいなど、積み木の形によりできることとできないことを理解できるようにします。</p> <p>③ 一つ一つ丁寧に印を付けながら、大きい数を数える体験を、7月中は週に1回、2学期以降は月に1回以上実施します。</p>
3年生	<p>① 順序に沿った読解ができるようにするため、学級全員に学年末まで、教室に掲示されている「学習スキル」の話し方、聴き方を実践し、順序に沿った思考ができるようにします。</p> <p>② 学級全員に3年2学期末まで、家庭学習の課題として、2週間に1回の練習問題や学校の学習プリントを活用し、文学的な文章や説明的な文章の読解問題を解くことに取り組みます。</p>	<p>① 学級全員に学年末まで、授業でなぜそのような式を導出したのかを説明することに取り組み、加減乗除の意味を理解しながら計算できるようにします。</p> <p>② 学級全員に3年2学期末までの家庭学習の課題として、週1回、練習問題や学校の学習プリントを活用し、加減乗除の四則演算が混ざっている問題や図形の問題を重点的に復習します。</p>
4年生	<p>① 「要約するとき」の学習で、中心となる語や文を見付けて要約する練習をします。それぞれの段落が、主に何について書かれている段落か理解できるようにします。</p> <p>② 「考えと例」の学習を活用し、段落を意識した3段落程度の文章が書けるようにします。学級朝会の1分間スピーチの原稿として、国語のノートに書きます。</p> <p>③ 指示語は、2学期までに授業と宿題で2回は演習をします。練習問題と学習プリントを用いて知識の定着を計るとともに、昼休みに個別指導を行います。</p>	<p>① 普段から教科書の問題文をよく読み、自力で考え解く時間を設け、問われていることを理解する練習を積みます。</p> <p>② 単元最後の問題練習で、個別指導を行います。</p> <p>③ 7月上旬社会科「水はどこから」と9月中旬算数科「資料の整理」の単元で、2つのグラフの違いを探したり、グラフを読んだ数値の違いに着目させたりします。</p>
5年生	<p>① 文章や詩の読み取りの時間を十分に確保します。2週間に1回程度、物語文を宿題として出し、長善タイムを使って復習します。</p> <p>② 2週間に1回程度、ことわざを教える時間を設けます。長善タイムで辞書を使ってことわざ調べに取り組み、そのことわざを用いた文を作ることをそ</p>	<p>① 公式や計算の仕組みを考える問題に取り組みます。類似問題を使い、学期に1回程度復習をします。宿題で出した問題も、授業内で復習します。正答率の低い問題は、宿題でさらに反復練習するようにします。</p> <p>② 数の仕組みや関係、単位変換を繰り返し行い、習得させます。4年生までの学</p>

	の日の自学とします。	習を含めて、週1回程度長善タイムで取り組みます。
6年生	<p>① 学期毎にある「話す・聞く」の単元において、ルールを毎時間確認し、「学習スキル 高学年」に沿って話し合いを進めるよう指導します。「相手の話を最後まで静かに聴く」と「順序・展開を整理して自分の考えを話す」ことができるようにします。</p> <p>② 古文や短歌の音読を、1ヶ月に2回程度宿題にします。長善タイムや授業時に音読を聞き、古文を読めているかを確認します。</p>	<p>① 図形と小数の計算は、中学校でも必要です。2学期までにNRTの問題を再度解いたりプリントを使ったりして、3回程度授業で演習を行い、知識を定着させるようにするとともに、個別指導を行います。</p> <p>② 速さは、基礎の定着を目的に、長善タイムで1学期中に5回行います。応用問題は、授業時や宿題解説の時間を使い、3回以上行います。宿題等での演習を、2学期終了までに1か月に1度行います。学習の定着を、授業の小テストで1学期中に確認します。</p>
学年	理科	
5年生	<p>① 2つの事象を関連付けて説明する練習を繰り返します。</p> <p>② 理解している児童の発表だけで終わるのではなく、全員が声に出したり書いたりして説明する機会を設けます。</p> <p>③ 目に見えないものを可視化する図や映像資料を工夫して、抽象的な概念を理解できるようにします。</p>	
6年生	<p>① 言葉や知識の定着のため、授業の中で繰り返し答えさせたり、自主学習の方法を指導したりします。</p> <p>② 実験の目的と結果から分かったことをきちんとノートにまとめる学習を繰り返します。</p> <p>③ 実験、観察前に、予想を立て、その理由を発表する時間を設けます。</p>	